

# 第七中学校 図書館だより

## 本はともだち



調布市立第七中学校図書館

2022年6月29日

日差しの強い日が増えてきましたね。校舎の周りの植物もぐんぐん伸びてきていますね。中学生の皆さんも、心も体もぐっと成長する時期です。本から知識や感受性といった栄養をぜひ、たくさん受け取ってくださいね。水分補給も忘れずに。



### ●お知らせ

#### ★イラスト募集★

中学司書おすすめの本のリスト「ほんとのであい2022」に掲載されるイラストを募集しています！選ばれると市内8校にお披露目されます。申込用紙はカウンターにあります。締め切りは7/19(火)です。みなさんのご応募、お待ちしております♪♪

#### ★SDGs「七中生が一番興味のある目標はどれだ?!」★

図書準備室前の掲示板にSDGs投票コーナーを作りました。まだ選んでない人は、17の目標から一番興味のあるテーマを一つ選んで学年カラーのシールを貼ってください。先生はオレンジのシールです。投票結果、七中ベスト3を2学期に発表します。SDGs関連本は文庫コーナー付近ブックトラックにまとめてあります。そちらもぜひ、読んでみてください。



#### ★本を借りて願い事を短冊に書こう★

7/1(金)～7/7(木)限定で、本を借りた人にカウンターで短冊を渡します。願い事を書いて、掲示板の笹に飾りましょう。その願い、叶うといいね!! (一人一枚。短冊がなくなり次第、終了です。)

### ●図書委員のおすすめの本!!コーナー 図書委員のとおきの一冊を紹介します。ぜひ読んでみてください♪

『線は僕を描く』 砥上裕将 F913ト  
孤独を抱えた主人公が水墨画や人々の暖かさに触れて成長していく物語です。実際に水墨画を描く様を見ているような、リアルな描写に引き込まれます。最後の一文に全てが詰まっているので、是非読んでみてください。

3年



『風に恋う(かぜにこう)』 額賀濤 F913ヌ  
「死ぬ時は、今日のことを思い出したい。」数年前に全日本吹奏楽コンクールで出場した、千間学院高校に進学した基(もと)基。高校では吹奏楽を続けないと心に決めていた。しかし、全盛期の部長だった瑛太郎がやってくる。サクスを始めるきっかけになった人に後押しされ、結局高校でも吹奏楽を続けることになった。1年生の基が部長に指名されたことから始まる軋轢…。全日本という夢の舞台を目指し、切磋琢磨する、高校生の物語。

3年

『ぼくらの七日間戦争』 宗田理 F913 ソ

明日から夏休みという日に東京下町の中学校1年2組男子が全員で解放区に立てこもり、大人たちに叛乱を起こした。子どもたちが縛り抑えている大人たちをそれぞれの得意分野をいかして倒していくところが痛快でおもしろいです。 3年

『岸边露伴は戯れない』 荒木飛呂彦 F913 ア

この話は、短編小説集です。なので手軽に読めます。ミステリーで、すごく夢中になって読めるのでおすすめです。4つの小説が入っています。毎回違う話で面白いです!!主人公の岸边露伴は、漫画家でいつもネタを探していると色々な人に会います。そこで露伴が不思議な話を聞きます。その不思議な話とは?!ぜひ、読んでみてください!! 2年



『小説・君の名は。』 新海誠 F913 シ

この映画の小説が僕のおすすめ本です。

この映画は見たことがなく、内容がわからなかったですが見てみると意外に面白くて映画も見たいくなりました。

僕は、ネタバレはしたくないので、見たい人は学校の図書室にあるのでぜひ見てみてください。

そして映画も見てください。僕も見られたら見えます。

これで僕の紹介を終わります。最後までありがとうございました。 2年

『12種類の氷』 エレン・ブライアン・オベッド 933 オ

秋が終わりに近づき、あるときバケツに最初の氷一触ると割れてしまう、薄い氷一が見つかる。氷は段々厚くなり、本格的な冬の訪れとともに畑が凍り、小川が凍り、やがて庭にスケートリンクができる。そうしたら、冬の青い空の下、きらきらした氷のうえで、わたしたちは思う存分スケートを滑る。季節の移り変わりとともに、12種類の氷が、わたしたちを楽しませてくれる...

繊細で美しいイラストで、冬を楽しむ小さなお話。

2年



### ちょこっとコラム・・・図書室の使い方・・・

図書室ってどんな時に使うの?本を借りるとき、調べ物や自習をしたいとき、など。でも、それだけじゃないのです。今日は親とケンカをしてしまってモヤモヤして友達と笑い合う気分になれない、とか、なんだか部活や塾へ行く気分にならないなあ、という日もありますよね。そんな日は昼休みや放課後に図書室に立ち寄ってみましょう。気になる本を借りるもよし、本棚をぼーっと眺めるもよし、図鑑や写真集、絵本や雑誌のページをめくるもよし。『気持ちを落ち着かせたいとき』や、『気持ちを切り替えたいとき』など、“心をととのえる”ための居場所としても図書室を利用してみてくださいね。

